

西区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
西区ふれあいまつり		西区ふれあいまつり実行委員会			
事業目的	事業内容	活動指標	R4	R5	R6
西区内に住む人々や区内で働く人々などがこのまつりを通じて、相互の心のふれあいと連帯感を持つことにより、区民としての意識の高揚を図り、良好な地域社会づくりに寄与する意識を高めることを目的とする。 第28回は、西区の次代を担うこどもたちに、「体験・体感の場の創出」、「時間・空間を共有することで生まれる一体感の醸成」ができるふれあいまつりをめざす。また地域活動のすそ野を広げ、西区14校区の更なる結びつきの強化につなげる。	西区14校区の自治会による模擬店・フリーマーケット、自治会活動や地域の魅力を紹介するパネルクイズコーナーのほか、西区で活動する各種団体等によるこども向けの体験コーナーを実施した。ウェスティホールではこども園から高校までのこどもたちによる発表やこども向けのキャラクターショーを実施した。	①来場者数(延べ人数)	16,630人	20,391人	21,900人
		②アンケートでの満足度測定(「よかった」以上の割合)	85.0%	92.9%	89.6%
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
○	◎	○	○	企画段階から事業実施まで、多くの区民と協働で事業を実施しており、行政の関与はコスト面、運営面の支援等で必要最小限に抑えている。また、キャラクターショーの事前応募や来場者アンケートにおいて、電子申請システムを活用することで、名簿の管理やアンケート結果の集計など、効率的に実施できた。	
西区14校区の住民がふれあ交流の場、また日頃の活動の成果発表の場として大きな役割を担っている。また、次代を担う若い世代に地域活動について知ってもらうことで、地域活動のすそ野を広げる役割も担っており、今後も継続して実施する妥当性が高い事業である。	西区14校区の自治会と西区役所で組織される実行委員会において、事業を企画、運営している。模擬店、こども向けコーナー、各校区の自治会活動紹介コーナーなど、各催しには自治会を中心に多くの区民が参画しており、行政は事務局として運営面で支援するなど、区民と行政が協働で実施している。	キャラクターショーは子育て層を中心に定員の2倍以上の事前申込があるなど、子育て世帯の取り込みに効果的であった。自治会活動や地域の魅力を紹介するパネルクイズコーナーを中心に実施した来場者アンケートの年齢層も20～30歳代が50%を超えるなど、若い世代に地域活動をPRできた。			
⑤自立発展性	総合評価				
△	◎	今年度もこども向けの内容で開催したこともあり、多くの子育て世帯に来場いただいた。来場者数は延べ約21,900人と昨年度より増え、イベント全体の感想を問う来場者アンケートでは、「大変良かった」「よかった」と回答していただいた来場者が89%となるなど、満足度も高かった。企画段階から区民が積極的に参画しており、当日も250名を超える区民の方が運営にあたり来場者と交流するなど、区民が相互にふれあい、区民としての意識の高揚を図る世代間交流の場となった。			
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	西区ふれあいまつりは今年で28回を数え、当日の来場者数や盛況ぶりからも、西区民のためのイベントとして、地域住民に浸透している。また、ふれあいまつりの準備や当日の運営を通じて、住民相互の交流と親睦、連帯意識の醸成の場を提供する役割を果たしているため、次年度以降も引き続き実施が求められている。今年度は設営テントの配置を変更したことで、館外ではスムーズな来場者の導線確保した。しかしながら、ふれあいまつりは区役所を使用したイベントでスペースや設備に限りがあるため、今後も実行委員や区民の意見、アンケート結果を踏まえながら、安全に配慮した区民の満足度の高いものとなるように催し内容やスケジュール、会場配置・導線等の改善・再検討を行う。				